

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年12月21日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670300534
法人名	医療法人 おさしお会
事業所名	グループホーム かたらい
所在地	鹿児島県鹿屋市笠之原町49番22号 (電話) 0994-43-2195
自己評価作成日	平成30年11月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成30年12月11日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当事業所は、母体である同法人医療機関が隣接しており、病状の変化等が見られた場合には早期対応が可能であり、医療面でも安心して生活が営む事が出来る体制を整えている。また災害時には同医療機関と密に連携を図り、迅速な対応が可能となっている。毎月災害を想定した避難訓練も行っており、職員や利用者様に周知する事により、災害対策に事業所全体で取り組んでいる。

当事業所の理念に基づき、利用者様一人ひとりの人権を尊重し、利用者様の想いを組み取り、ケアの質の向上へ繋げている。馴染みの関係を築き毎日笑顔で過ごせる様に努めている。

利用者様と共に季節の花を植えたり、裏庭の菜園にて様々な野菜を育て、収穫や食べる喜びを味わったり、ホールには利用者様の手作りの季節を感じれる作品を展示して季節感を利用者様に感じて頂ける様な工夫を行っている。

他グループホームとの交流を行い、運営推進会議にも参加させて頂き、情報交換をしている。また地域の方々との交流として、町内会のイベントに参加させて頂いたり、近くの保育園の運動会を見学させて頂くなかで児童とふれあったり、近隣の方に避難訓練に参加頂き、開かれた事業所作りを目指しています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・当事業所の周囲には大型店舗やコンビニエンスストアもあり、日常の外出で地域の人々とふれあいながら買い物を楽しめる環境である。野菜や果物の差し入れなどもあり、面会も多く暖かなホームである。

・母体医療機関が併設し、定期的受診や看護師との連携などが図られ、日常の健康管理や緊急時の対応などで適切な医療が受けられるよう支援している。災害時の協力体制もできている。

・町内会に加入し、徘徊の模擬訓練などの地域行事に積極的に参加し、保育園児との交流、中学生の職場体験、ボランティアの受け入れも行っている。認知症についての相談や助言をして日常的に地域と交流している。

・管理者は職員が働きやすい環境作りに配慮し、資格取得に向けての支援や各種研修への出席を奨励している。職員間のコミュニケーションも良く離職者も少ない。利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望や意向を大切に、利用者が笑顔でその人らしい生活ができるように取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域密着型のサービスの意義を職員全員が理解し、その人らしい生活を守り、寄り添うケアを理念として掲げ実践している。	地域密着型サービスを踏まえた理念があり、リビングに大きな文字で掲示し、パンフレットや重要事項説明書・便りに掲載している。申し送りや職員会議等で、確認しながら理念を共有して実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近くの保育園の運動会を見学したり、花見に参加させて頂き、交流を深めている。地域の方も参加して避難訓練を実施したり、野菜を頂いたり、地域の方とのコミュニケーションが図れている。	町内会に加入し、安全祈願祭や徘徊訓練等の地域行事に参加している。保育園児や小学生との交流、中学生の職場体験学習、ボランティア受け入れなども行っている。野菜や果物などの差し入れもある。認知症についての相談や助言なども行い、日常的に地域と交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	交流の成果もあり、近くを通られる時には挨拶や声も掛けて下さり、小学生も気軽に立ち寄ってくれる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議の時に毎月発行している広報誌をお渡しし、利用者様の様子や活動等を伝え、委員の方の意見やアドバイスを基に職員間で共有しサービスの向上に努めている。</p>	<p>会議は定期的開催している。毎月発行の便りも配布して、事業所の状況やヒヤリハット・外部評価結果報告などを行い、参加者からも多くの助言や提案がある。事業所への理解を深め、情報発信の場ともなっている。そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議の日にかたらい便りをお渡しし、日常の様子や取り組みをお伝え、事故や火災防止対策等のアドバイスを頂いている。</p>	<p>市担当者には、電話や窓口に向き事業所の実情や取り組みを伝え、助言を貰っている。市主催の研修会やグループホーム協議会の勉強会にも積極的に参加している。運営推進会議の際に「かたらい便り」も配布して情報を伝え、協力関係もできている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>事業所が道路に面している為、ご家族の了承を頂き、暗証番号式の鍵を使用しているが、日中は解放センサーや職員で対応し安全面に配慮している。職員間では勉強会を開催し、拘束しない取り組みを検討している。</p>	<p>法人全体での研修会に参加した職員が、事業所の会議で伝達したり、事業所でも研修を実施している。対象となる事例検討などで職員の共通認識を図り、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。言葉による拘束など日々確認し配慮している。日中は玄関に施錠していない。職員間の連携で安全な暮らしを支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	かたらい会議や合同勉強会を開催し、虐待について学び日々のケアを振り返り、見過ごさない様注を意図している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	かたらい会議の中で勉強会を開催したり、研修会に参加し研修会の内容を報告し、話し合い共有し、職員に意識づけを行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の締結・解約又は改定等の際は、隣接医療機関相談員と2人で面会し説明を行い、理解・納得して頂ける様に努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会簿に要望・希望欄を設け、面会時には職員全員で声を掛け、何でも話せる雰囲気作りに心掛けている。家族の意見を伺い職員会議で共有し、取り組みを推進会議等で伝え、アドバイスを基にケアの質の向上へ勤めている。	利用者からは日々の生活の中で意見や要望を聞いて対応している。家族からは面会や家族会・運営推進会議が意見を聞く良い機会となっている。毎月の「かたらい便り」で近況報告を送付している。出された要望で、他施設で生活している妻に会いたい気持ちを支援したり、入所時に抱えていた褥瘡の治療をするなど、不安解消や家族の安心に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月のかたらい会議の中で、職員が日頃気付いた点や要望を話し合い、上司に報告し職員の処遇改善に努めている。</p>	<p>管理者は気づきノートや申し送り・語らい会議等で職員の意見や提案を聞く機会を設けている。上司にも報告し、反映を図るよう心がけている。出された提案で、取って付きの食器の活用や食べやすい大きさのおにぎりにしたり、手摺を利用してのポータブルトイレ使用など、生活の安定や安全な暮らしに反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員一人ひとりの状況の把握に努め、技術・能力の向上を目指して行く様努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員全員が研修を受けられる様に計画を立て、各自のスキルアップにつながる様に進めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>当系列には3つのグループホームがあり、常に連絡を取り合っている。他のグループホームの運営推進会議に参加させて頂き、意見交換や情報交換を行い、より良いケアの取り組みやサービスの向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前のアセスメント時、病歴や生活歴を聞き取り、本人の意向や要望を確認し、職員にアセスメント表等により周知させ、安心した生活を送れる様に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前のアセスメント時、本人の要望と共にご家族の想いに耳を傾け、不安な事に対する回答を早く届け、安心して頂ける様努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期面談時、何を必要としているかのかを見極め、福祉用具の購入時は業者との間に入り、アドバイスしたりしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩である事を常に念頭に入れ、尊敬し寄り添い、共に生活する事を大切にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月のかたらい便りを通して、生活の様子を細かくお知らせして、家族と共に幸せを願い、叶える様に努力する。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	いつでも、面会に来れる雰囲気を作り、居室で他の利用者様を気にする事なく、ゆっくり過ごせるようにして頂いている。要望等に対しては出来る限り応え、希望を叶えている。	親戚や友人・知人の面会が多く、一緒にお茶を飲んだりしている。個別に自宅近辺へ出かけたり・馴染みの店での買い物・理美容院利用・墓参など、継続的關係が途切れないよう支援している。電話の取次ぎや年賀状のやり取りの支援もしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	仲のいい人同士、揉め事が起こらない人同士、同じテーブルに座って頂き、トラブルがない様、仲良く過ごして頂ける様に配慮する。レクリエーション等を通してお互いに支え合える環境作りに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	医療機関へ入院された方や、他の施設に移動された方の来訪をしている。家族から相談があった場合には、親身になって相談に応じている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の訴えやケアプランの見直し時に、希望や意向を伺ったり、訴えが困難な方は、生活の様子を職員間で話し合い、本人本位のケアにつながる様に努めている。	日々の関わりの中で一人ひとりとコミュニケーションを図り、言葉や表情などから思いや意向の把握に努めている。困難な場合は、利用者の思いを家族にも相談し、利用者の視点に立って職員で話し合い、本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前のアセスメント時、生活歴を聞き取り、入所されてからも些細な会話等から、状況把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	活動チェック表を付けて、出来る事の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の意向を定期的に聞き取り、家族の意向も基にケアプランを見直し、職員間で共有し、本人や家族の思いに沿ったプランへ変更をしている。サービス担当者会議でも出た意見も基にして、介護計画の作成に取り組んでいる。	本人や家族の意向を確認し、主治医の意見も踏まえた担当者会議で、個々に応じた介護計画を作成している。毎月モニタリングを実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日経過記録として、その日の担当者が記入し、全職員で情報の共有に努めている。また、朝のミーティングや連絡帳等も活用している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>その時に必要なサービスを見極め、柔軟に対応出来る様に取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>ご家族への連絡を密にし、本人の心身の支えに、暮らしを楽しめる様に支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>同敷地内の病院がかかりつけ医なので、定期的受診や緊急時の受診にもすぐに対応する事が出来、本人様やご家族共に、安心して頂ける環境にある。</p>	<p>受診は、本人及び家族の希望で母体医療機関で受診している。定期受診や歯科受診は職員が同行している。他科受診は家族の協力を得ている。緊急時の対応などで適切な医療が受けられるよう対応している。受診結果は家族と共有している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	バイタル異常者や体調不良者等は、すぐに連絡しDrに報告し指示を頂いている。転倒等があった場合でも、隣接の医療機関を受診し、検査等して頂いている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	情報交換や相談に努め、隣接の医療機関では、ナースやDrと情報交換し、安心して治療して頂ける様、関係作りに努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合には、隣接の医療機関のDrに相談し、入所時に利用者の今後について話し合いの場を持ち、終末期の対応について説明している。また、同グループの施設との連携についても説明している。	契約時に、重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し同意を得ている。同法人の特別養護老人ホームや母体医療機関との連携の説明もしている。状況変化に伴い意向を随時確認し、家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全職員に、普通救命講習を受講させている。緊急時には隣接の医療機関との連携により、早期に対応出来る様に体制を整えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>毎月、全職員で火災訓練をしている。年1回は、消防署立会いの訓練も実施し、近隣の方々の応援も頂いている。</p>	<p>消防署立会いのもと年1回、自主で月1回の避難訓練を実施している。隣接する同法人の母体医療機関と協力体制もできている。スプリンクラーや火災報知器・緊急通報装置も設置している。防災設備は業者が点検している。緊急連絡網に町内会長や消防分団長を登録するなど、地域との協力体制もできている。水・米・レトルトおかゆ・果物類の缶詰・インスタントちゃんぽん等の食料や卓上コンロなどの備蓄がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりを良く知り、その時々のお気持ちを理解する事に努め、その方に合った優しい声掛けが出来る様にしている。	テーマを決めての定期的な勉強会やグループホーム協議会での研修会を行い、職員の資質向上に取り組んでいる。入室や入浴介助・排泄介助などで、羞恥心に配慮を行い、個々人のプライバシーを損ねない対応をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	その方の思いや希望をしっかりと、じっくり聞く事に努め、良い方向へ自己決定出来る様にしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の流れに沿って生活をさせているが、その時々のお気分や体調を一人ひとり把握する事で、その方の希望に応じられる様にしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	衣類等の購入希望があった場合には同行し、買い物を楽しんで頂いたり、訪問理容を利用し、髪をカットしたりして支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	旬の食材を多く活用したり、料理の下ごしらえや保存食等、手伝いを頂いている。体調を見ながら、下膳やお茶碗を職員と一緒に洗って頂いている。	嗜好に配慮し、旬の食材を使用している。利用者は準備や後片付けなど職員と一緒にしている。一人ひとりの誕生日のお祝いや季節の行事食、家族との外出など、食事が楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事摂取量や水分量をチェックし、健康状態の把握に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを促し、個々の能力に応じた支援を行い、清潔保持に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の自立困難な方は、排泄チェック表にて排泄パターンを把握し、排泄の失敗をなるべく少なくし、自立支援を行っている。	一人ひとりの排泄リズムの把握に努め、必要に応じての声かけや見守りを行い、トイレでの排泄や排泄の自立を支援している。ポータブルトイレ利用者もいる。オムツからリハビリパンツに改善できた事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事は野菜類を多くし、運動や腹部マッサージ、水分補給を促しながら便通を整えるが、それでも便秘がちな方には下剤で調整し、便秘予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は、曜日を決めて対応しているが、個々のプライバシーを守り、気持ち良くゆっくり入れる様にしている。希望時や汚染時等は、すぐに対応出来る体制を整えている。	基本的には週3回、午後に入浴を行っている。個々人の体調や希望に応じて柔軟に対応している。清拭やシャワー浴も行っている。2人介助で対応している。好みのシャンプー使用やゆず湯などで入浴を楽しめるよう支援している。入浴を拒む利用者には時間調整や声かけなど職員の連携で対応している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	常に利用者様の状態や体調を把握し、安心して休まれる様に、寝具調整や室温調整等、細めに支援している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	バイタル表をチェックし、内服支援をしている。スタッフ間での話し合いや医療機関への連絡等で、症状の変化を報告し確認に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>畑仕事を得意とされている利用者様には、野菜作りを教えている。花好きな方は花を買いに行ったり、依頼があれば注文を手伝ったり、手芸好きな方からは注文品の買い物を行ったりしている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>季節の移り替わり等を、確かめて頂ける様、ホーム近辺を散歩したり、本人様の外出希望先へ行けるよう、御家族様と相談して外出の支援をしている。</p>	<p>日常的には周辺の散歩や外気浴を楽しんでいる。利用者の希望に合わせて買い物や墓参・理美容院・自宅付近等へ出かけている。年間計画を立て、初詣やコスモス・さくら祭りに出かけている。家族の協力で外出・外食・墓参などにも出かけている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お小遣いを預かり、不足品や日用品を購入している。また必要な買い物や欲しい物があれば、一緒に買いに行ったり、行けない方の物は、すぐに対応している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話をしたいと希望された時には、いつでも支援している。また、本人が掛けられない方は、ご家族の方からの電話をお願いしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関先や周りには、季節の花を植え、ホールの壁には四季を感じさせる貼り絵を、工夫しながら飾っている。</p>	<p>玄関には季節の花々を飾り、共用空間は広く開放的で、採光や換気・温度・湿度に配慮し清潔である。冬場は濡らしたタオルをかけて湿度に配慮している。壁には利用者の作品や写真を貼付し、季節感を大事にした飾りつけも行っている。ゆったりしたソファで居心地よく過ごせるような工夫がされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>居室には、使い慣れた装飾品や家族写真を貼って、居心地良く過ごせる様にしている。ホールでは、気の合った方同士が座れる様に工夫している。</p>	/	/
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入所時、家にある使い慣れた物や道具等を持込んで頂き、本人の居心地の良い空間で生活をして頂いている</p>	<p>居室はベッドやダンス・エアコンが備え付けである。テレビや寝具・家具・遺影・写真・時計・ぬいぐるみ・暦など、使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、安心して過ごせるよう配慮されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>残存能力を残して、出来るだけの事は協力をして頂き、安全で自立した生活が送れる様に工夫している。</p>	/	/



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない